

2 道路整備の「基本理念」と「基本目標」

道路整備を取り巻く社会状況や都市計画道路の現状を踏まえ、東京都長期ビジョン（平成 26 年 12 月）や各区市町の定める総合計画などに基づき東京が目指すべき将来像を見据え、これからの道路整備を進めていくための「基本理念」、「基本目標」を定めます。

（1）東京が目指すべき将来像

人口 3,500 万人を超える東京圏域全体の発展のためにも、東京を中心として圏域全体が機能を最大限に発揮していくことが不可欠です。そのため、引き続き、東京圏全体の広域的な視点に立った都市構造である環状メガロポリス構造を目指し、多様な機能集積を生かしつつ、更なる国際競争力を備えた首都へと再生していきます。

さらに、人口減少や高齢化が進行していく中で、東京が活力を更に高めていくため、誰もが活動しやすく、快適に暮らせるまちを実現することも重要です。このため、市街地の無秩序な拡大を抑制した上で、地域の特性に応じて必要な機能を確保し、駅などを中心に都市機能を一層集積させた集約型の地域構造へ再編していきます。

平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災は、多くの教訓を東京にもたらしました。首都東京が一たび機能麻痺^ひに陥ると、直ちに日本の機能停止につながり、その影響は世界へと波及します。地震、更には近年頻発している集中豪雨などの自然災害に対し、万全の備えを持つ高度な防災都市を構築し、都市機能と都民生活を守ります。

ア 環状メガロポリス構造の実現

- 東京圏の交通ネットワークを強化し、圏域内の活発な交流を実現
- 業務、居住、防災など多様な機能を地域や拠点が分担し、広域連携により東京圏域全般で一体的な機能を発揮
- 山地、河川などの自然と道路などの都市環境が一体となって、水と緑の骨格を形成



[センター・コア]

東京圏の中心にあり、都心、副都心などが含まれる。
日本の政治・経済・文化を牽引する中心核

[水と緑の創生リング]

センター・コアと合わせて職住近接を図るとともに、質の高い生活環境の形成を図る。

[東京湾ウォーターフロント都市軸]

国際空港・港湾を通じた国内外の人、モノの交流の拠点

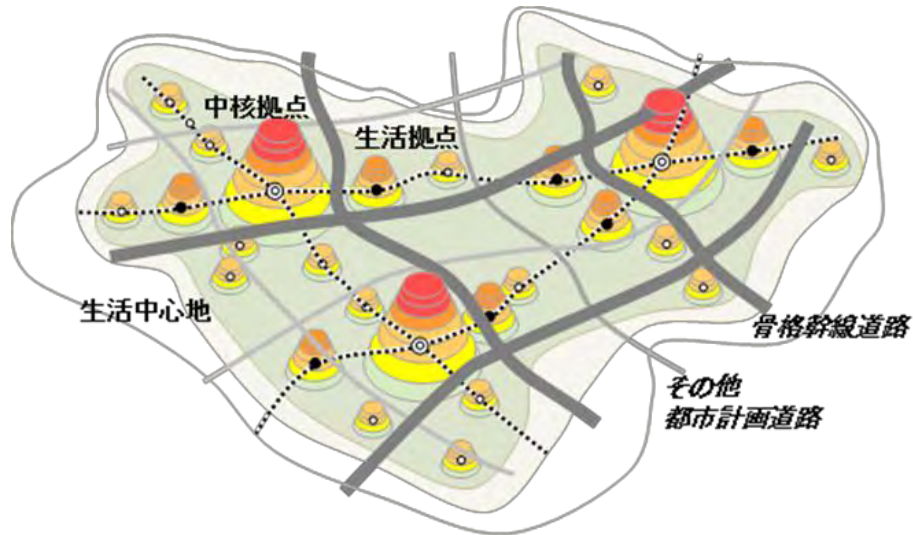
[核都市連携都市軸]

核都市群を環状方向に結び付ける、連携・交流軸。交通、物流、情報など環状方向のネットワークを強化する。

図 1-26 環状メガロポリス構造

イ 集約型の地域構造への再編

- 地域特性を踏まえて選択した拠点的な市街地を再構築するとともに、それを支える都市基盤や交通インフラの整備に取り組み、東京の市街地を集約型の地域構造へと再編
- 個性ある各拠点は、公共交通網や幹線道路網により有機的にネットワーク化を図り、都市全体として日常生活を支える都市機能（行政、教育など）と高度な都市機能（高度な教育、医療福祉など）とを分担して提供



集約型地域構造への再編を目指し、拠点の形成に向けて区市町と連携して都市づくりを積極的に展開するとともに、拠点については都市づくりの進展状況に応じて適宜位置付け、育成していくこととしています。

○中核拠点

交通利便性などをいかした業務・ビジネス、商業、文化、飲食サービスなど高度な機能集積により、東京圏の都市活力や都市文化をリードする拠点

○生活拠点

交通結節点などにおける商業、福祉、文化、教育などの生活機能などの集積により、幅広いサービスを提供できる広域的な中心性を備えた拠点

○生活中心地

特徴ある商店街やコミュニティインフラ（道路、公園、集会施設、子育て支援施設、高齢者介護施設、教育文化施設など）の整った、身近な地域における人々の活動や交流の中心地

図 1-27 集約型の地域構造のイメージ

ウ 安全・安心な都市の実現

- 地震などの自然災害に対して、東京の総力を結集した万全の備えを講じることにより、防災対応力を飛躍的に高め、世界に誇れる安全な都市を実現
- 都民の生命と東京の都市機能や首都機能を守るため、緊急輸送道路の拡充など、道路ネットワークを強化



図 1-28 緊急輸送道路 イメージ

(2) 道路整備の「基本理念」

東京における都市計画道路の整備を推進していく上での基本的な姿勢として、「基本理念」を以下のように設定します。

ア 東京の目指す都市づくりに資する道路整備

政策方針として掲げている東京都長期ビジョンや各区市町の総合計画など上位計画に基づき、東京の目指すべき将来像である環状メガロポリス構造、集約型の地域構造、安全・安心な都市の実現に向け、道路整備を推進します。

イ 都民のニーズに対応した利用者・生活者の視点からの道路整備

高齢者の増加や人々の意識・ニーズの多様化への対応など、利用者・生活者の視点に立ち、その機能が有効に活用されるよう、使いやすく、かつ、質の高い道路整備を推進します。

ウ 選択と集中による重点的かつ効率的な道路整備

限られた財源の下、重要な施策の実現に向け、選択と集中による効率的な道路整備を行うことが必要不可欠であり、長期的視点に立ち、地域特性を踏まえつつ、効果的な投資としてふさわしい道路整備に重点的に取り組みます。

(3) 道路整備の「基本目標」

東京が目指すべき将来像の実現に向け、東京の抱える道路整備の課題を解決するため、都市計画道路の整備に関わる四つの「基本目標」を以下のように設定します。

